

立夏を過ぎ、大阪では、冷房 28℃と職場での軽装を勧める「夏のエコスタイル」が始まっています。10月末までですから、ちょうど1年の半分が“夏”ですね。現在会員登録数 2,648 人さま。次号は6月21日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》読書活動ボランティアのためのワンポイント 93

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 国際講演会「ベルギーの児童文学」

ワッフルやチョコレートがおいしい国ベルギー。豊かな子どもの本の現状を、国際児童図書評議会 会長のドンケルさんと、野坂悦子さんが語ります。

講演1：「ベルギーの児童文学とは」

講師：野坂悦子（作家、翻訳家）

講演2：「ベルギーの児童文学 ー私の心に根ざす哲学」

講師：ワリー・デ・ドンケル（ベルギーの作家、評論家）

通訳：野坂悦子

日 時：5月27日（日）午後1時30分～4時30分

場 所：大阪府立中央図書館 2階大会議室（東大阪市荒本）

定 員：60人（申込先着順）

参加費：1,000円

主 催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

協 賛：サントリーホールディングス（株）、ムサシ・アイ・テクノ（株）、
（株）富士通システムズアプリケーション&サポート

助 成：子どもゆめ基金助成活動

詳細・申込み→ http://www.iiclo.or.jp/03_event/02_lecture/index.html

● 連続講座「アメリカと日本の子どもの本」の報告集を販売しています
昨年5月～7月に開催しました三宅興子さんの連続講座「アメリカと日本の子どもの本ーその関係を探るー」（主催：当財団）の報告集。全3回の講演を記録しています。発行：当財団 2018年3月 A4判83頁 1200円＋税

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募ってい

ます。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。
お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

● 当財団公式 Twitter → https://twitter.com/IICLO_News

【2】コラム

《1》この本読んだ？ Yasuko's & Takeo's Talk

『その景色をさがして』 中山聖子/著 PHP 研究所 2018年4月
対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：中学2年生のトーコは小説家だった母を病気で亡くし、祖父母と暮らしている。母より七歳下の妹で小児科医の千紘ちゃんはトーコを心配してくれるが、母を失った悲しみと、病気の母にひどい言葉を口にしてしまった後悔と、絵の才能が花開いている親友への嫉妬と、母と離婚した父が突然連絡してきたことでもややもやしている。そんな中、母が生前見せたいと言っていた景色とはどこなのかを探し始める。

T：「パパとママが離婚した時にも思ったけれど、きっと世の中は、しかたのないことはいっぱいなのだ。泣いてもわめいても自分の思い通りにはいかないことが、そこら中に転がっているのを、わたしはちゃんと知っている。」(p.12)と考えることのできる、少し大人びた少女が主人公の作品でした。

Y：私はトーコが親友に八つ当たりをしたり、千紘ちゃんに向かって両親は自分のことを愛していないとか、自分は自信がないとかと訴えたりすると、中学生らしさを感じて好感を持ちました。

T：おもしろかったのは、タイトルにもあるトーコのママが生前一緒に行こうと言っていた景色をさがす という謎解きの要素です。その場所をママがトーコに伝えず、トーコも聞かなかったのが、それを口にするとう死が間もないことを認めてしまう気がしたからと書かれていて、微妙な心理を描いていると思いました。

Y：この謎解きには、トーコの名前の由来にも関わっており、そして、ママの思春期から学生時代にも関わっています。トーコがママの死後、ママの友だち関係に関わる過去や千紘ちゃんのママへの思いなどを発見していく過程がとても興味深かったです。そして、その時々のトーコの思考が丁寧に書かれていると思いました。

T：トーコの両親が海外赴任中に離婚したという設定も腑に落ちました。トーコのパパはママの依頼でママの病気を知らず、喪中ハガキで死を知り、帰国してトーコに連絡をとりますが、トーコには会う決心がつきません。そのわだかまりが解決の兆しを見せる結末に「うまいなあ」と思いました。

Y：結末の景色はとても美しかったです。

* 今回のゲストは当財団の宮川健郎理事長（T）です。

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

第 33 回「銀河鉄道の夜」(その 4)

「銀河鉄道の夜」のテキスト

「銀河鉄道の夜」は、未完・生前未発表の作品です。

賢治の代表作にして傑作という評価がある一方、かつて鳥越信は、児童文学という観点から〈ストーリーが不分明〉(「銀河鉄道の夜」1973) などという理由で否定的評価を下しています。ということなのでしょう。

賢治の推敲の全貌を収める二つの全集(『校本』1974 および『新校本』1995、いずれも筑摩書房。刊行年は「銀河鉄道の夜」を含む巻)によると、本作は少なくとも7度に渡る手入れや清書が行われ、4層の作品形態(「初期形」一～三、および「最終形」)を生んだとされています。

『宮沢賢治「銀河鉄道の夜」の原稿のすべて』(監修・解説:入沢康夫 1997)を参考に、各段階の概要を記述すると、まず「初期形一」では、冒頭からジョバンニとカンパネルラは銀河を旅しています。サウザンクロスでカンパネルラは天上へ旅立ち、ジョバンニは〈ほんたうの幸福〉を探しあてると決意を新たにします。そのときセロのような声が聞こえ、ブルカニロ博士が登場して夢は〈遠くから私の考を人に伝える実験〉だったと明かされます。

これにジョバンニの切符、鳥捕りのエピソードなどが書き加えられたのが「初期形二」です。「初期形三」は、父の不在と母の病気、学校でのジョバンニの孤独な境遇などが語られ、また黒帽子の大人が信仰と科学の問題を独自の歴史観で説明する場面が付加されます。

しかし、「最終形」では黒帽子の大人も博士も消滅、銀河の旅は博士の実験ではなく、ジョバンニ自身の夢という設定に改稿されました。私たちが普通目にする作品は、この「最終形」ということになります。同じ作品とはいえ、各段階にはさまざまな違いが見られます。

作品が初めて公になったのは、賢治没後 1934 年に文圃堂から出た『宮沢賢治全集』ですが、全集収録に際し、編集者側が確定・公表した本文が〈解読や、紙葉順序の判定について、多くの疑義〉(入沢康夫)を生み、作品の〈錯簡問題〉(同)をもたらすこととなりました。

文圃堂版では、ジョバンニはカンパネルラの死を悟ってから銀河の旅に出るという作品になっています。現在はこうした本文の混乱はありませんが、長く続いた錯簡が冒頭の否定的評価につながったといえます。その後、『校本全集』の刊行による本文の確定・整理が行われ、こうした混乱はなくなっています。

「銀河鉄道の夜」を、黒帽子の大人やブルカニロ博士が登場する「初期形三」で親まれた方も多いのではないのでしょうか。(ペ吉)

(本文の引用は、『新校本 宮沢賢治全集』(筑摩書房)によりました。)

《3》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 93

その11 さまざまなご質問にお答えします (11) ボランティア活動について

質問：おはなしボランティアの活動に興味があります。何から始めればよいですか。

今回から、おはなしボランティア活動についての質問に回答していきたいと思います。

絵本やおはなしを子どもたちに読むボランティア＝おはなしボランティアを始めたいと思われたとき、私がおすすめるのは、絵本をたくさん読むことと、おはなし会に参加してみることです。

まず、これまで絵本を読んだことがない、または絵本は自分の子どもに少し読んだぐらいという方は図書館等でブックリスト等を参考にしながら、100冊ぐらいの絵本を読んでみてください。絵本に魅力を感じ、この楽しさをたくさんのお子どもたちに伝えたいと思われたら、ボランティア活動のための次のステップに進んでいただければと思います。逆に、絵本のおもしろさを感じられないと思われたら、無理する必要はないと思います。

すでにたくさんの絵本を読んでこられている方は、これまで読まれた本でも新しい本でもいいですが、絵本を通して子どもに何を伝えたいかということをし考えながら読んでみてください。活動をするにあたってそのことを考え続けたいと思うかどうかを自分に問うていただければと思います。

おすすめることの2つめは、図書館等が実施している「おはなし会」を見学してみられることです。そして、自分が同じ活動をするイメージがわくかどうかを考えてみてください。絵本の魅力を子どもに伝えたい、おはなし会の楽しさがわかったと思われたら、次はいっしょに活動するグループを探します。それは次回に書かせていただきます。

* 次号は「その11 さまざまなご質問にお答えします (12)」の予定です。
ぜひ、ご質問やご意見をお待ちしております。(Y)

《4》 行って来ました！

大阪市立美術館で6月10日まで開催されている「特別展 江戸の戯画 鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎まで」に行ってきました。「鳥羽絵」「耳鳥斎（にちょうさい）」「北斎」「国芳」「滑稽名所」「暁斎」の6章に分け、18世紀から明治時代の版本や錦絵などの戯画約280点が、展示替えをしながら展示されています。

最初に展示されていた鳥羽絵本は、18世紀に大坂（当時の表記）で出版され流行した浮世絵の一種で、線で描かれた戯画で略画とも言われ、細長い手足に小さい目に描かれた人物がユーモラスです。住吉大社の太鼓橋から3人の人が転がり落ちている絵もあり、傾斜が急な橋を思い出して親近感を覚ええました。

鳥羽絵から後世への影響がわかるような展示もあり、興味をそそられました。例えば、二代喜多川歌麿が文化後期（1811～18）頃に描いた錦絵「朧に天狗の卵」は、『鳥羽絵欠び留』に出てくる、木こりが木を伐っていると卵が落ちてきて、割れた卵から天狗の赤ちゃんが飛び出して周りの人が驚いている絵とそっくりです。他にも『北斎漫画』の餅つきの絵や、暁斎の大蛸の絵などが鳥羽絵と比較できるように展示されていて、鳥羽絵のユーモアが受け継がれていることがわかります。

鳥羽絵を洗練させたとされる耳鳥斎の「地獄図巻」は、生前の職業に応じた責め苦にあわされる様が描かれています。立花師なら手足を切られて花器に活けられたり、飴屋なら飴のように引っぱって伸ばされたり、残酷なのに思わず笑ってしまいます。

どの絵からも現代のマンガに通じる線のおもしろさと、庶民の生活からにじみ出る笑いが感じられ、江戸時代のエネルギーあふれる文化から元気ももらって帰りました。（K）

【3】全国イベント紹介

● 新刊書研究会「2017年子どもの本」

昨年出版された児童書を通して子どもの本の世界の一端に触れてみませんか。いろいろな観点から選ばれた新刊書の話をお聞きしましょう。

講 師：土居安子（大阪国際児童文学振興財団 総括専門員）

日 時：5月26日（土）午後1時～4時

会 場：堺市立南図書館（堺市南区茶山台）

資料代：有料

主 催：子どもの読書と教育を考える会

● 資料小展示「日本の子どもの本～珠玉の30選～」

国際児童文学館所蔵の、日本の子どもの本の中から珠玉の30点を紹介します。

会 期：開催中～6月29日（金）休館日あり 入館無料

会 場：大阪府立中央図書館 国際児童文学館（東大阪市荒本）

主 催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号の【1】お知らせで紹介しました、三宅興子連続講座「アメリカと日本の子どもの本」の報告集を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.93プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガの

